

記入例

地区計画の区域内における行為の届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

北広島市長 様

届出者 住所 北広島市中央4丁目2番地1
氏名 北広島 太郎

どれかをチェック

都市計画法第58条の2第1項の規定に基づき、
 建築物の建築又は工作物の建設
 建築物等の用途の変更
 その他 ()

について、次のとおり届け出ます。

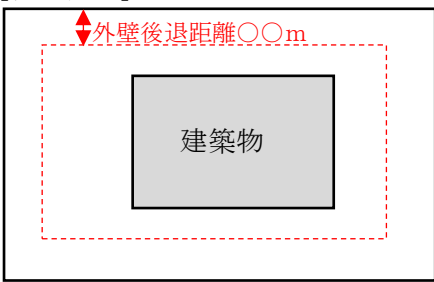
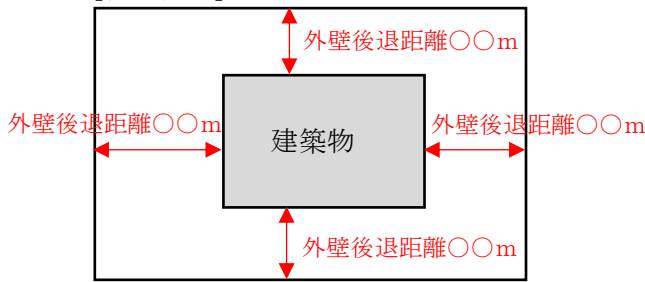
1 地区名	虹ヶ丘地区			
2 行為の場所	北広島市 虹ヶ丘〇丁目〇番地〇	どれかをチェック		
3 行為の着手予定日	令和 〇年 〇月 〇日	4 行為の完成予定日	令和 〇年 〇月 〇日	
5 設計 又は 施工 方法	(1)	① 行為の種別 建築物の建築 、工作物の建設) (新築・改築・増築・移転)		
	(2)	②	面積算定図添付	
	(3)	③	届出部分	届出以外の部分
	(4)	④	合計	
	(5)	⑤	I 敷地面積	258.30 m ²
	(6)	⑥	II 建築又は建設面積	62.30 m ²
	(7)	⑦	III 延べ面積	105.30 m ²
(8)	⑧	IV 高さ (平均地盤面から)	7.25 m	
(9)	⑨	V 用途	一戸建て専用住宅	
(10)	⑩	VI かき又はさく	有・ 無 構造 CB造 (地盤面から 1.20 m)	
(11)	⑪	(7) 変更部分の延べ面積	m ²	
(12)	⑫	(イ) 変更前の用途	(ロ) 変更後の用途	
(13)	⑬	塀等をつくる場合のみ記入		
6 行為の場所の用途地域	1種低層住専 ・2種低層住専・1種中高層住専・2種中高層住専・1種住居 2種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用			
7 設計者又は施工者	(住所) 北広島市〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇			
	(名称・氏名) 〇〇〇会社 ××××× (TEL △△△-〇〇〇〇)			

●主な注意点

- ・届出者が法人である場合においては、氏名はその法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- ・地区計画において定められている内容に照らして、必要な事項について記載すること。
- ・同一の土地の区域について2以上の種類の行為を行うときは、1つの届出者によることができる。
- ・地区計画の届出は着手予定日の30日前までに提出すること。
- ・届出書は正・副各1通記載すること。
- ・敷地面積、建築面積、延べ面積、高さ、建物用途等は建築確認申請と同様に記載すること。
- ・建築物の面積算定図や塀の詳細が分かる図面を添付すること。

担当者名と連絡先を記入

(※添付図面の様式や用紙サイズの指定はないが、各図面の必要事項を記載し必ず縮尺を合わせること。)

位置図	記入上の注意：方位、道路及び目標となる地物を明記して下さい。 <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">住宅地図等を用いて方位、道路、目標となる地物、行為の場所を明記すること。</div>
配置図	記入上の注意：縮尺、方位、敷地の境界線、敷地内における建築物の位置、寸法、届出に係る建築物と他の建築物との別並びに敷地に接する道路の位置、幅員及び屋根の流れ方向、又、道路及び周辺の土地との高低差を明示して下さい。 <div style="border: 2px solid red; border-radius: 25px; padding: 10px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">以下の点を図面内に明記すること。 ① 縮尺、方位 ② 敷地境界線（隣地、道路どちらも） ③ 建築物の位置 ④ 寸法 ⑤ 道路の位置、幅員 ⑥ 屋根の流れの方向 ⑦ 道路及び周辺の土地との高低差 ⑧ 高度地区（北側斜線制限）の寸法及び算定根拠（低層住居専用地域の場合） ⑨ 外壁後退の規制を満たしていることが分かるよう、外壁後退線の明記（記入例1）、または敷地・道路境界から外壁外面までの寸法を記載（記入例2）。（外壁後退の規制がある場合）</div> <div style="text-align: center; font-weight: bold;">【外壁後退の規制の記入例】</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"><div data-bbox="311 1825 746 2139" style="text-align: center;"><p>【記入例1】</p></div><div data-bbox="813 1825 1460 2139" style="text-align: center;"><p>【記入例2】</p></div></div>

以下の点を図面内に明記すること。

①縮尺

②階別

③各階の室名

④店舗、事務所、アトリエ等の場合はその内容

⑤建築面積、延床面積が分かる各階の面積算定図（配置図内で可）

⑥ポーチやカーポート等がある場合はその名称や柱の位置を記載

※塀・看板等を設ける場合は、配置図に位置を明示し、高さ（断面図）等が分かる詳細図を別添すること。

以下の点を図面内に明記すること。

- ①縮尺
 - ②建物の最高高さ
 - ③軒の高さ
 - ④外壁の色（地区計画による制限がある場合）
 - ⑤高度地区（北側斜線制限）の立ち上げライン・寸法、算出根拠を記載すること。（低層住居専用地域の場合）
- ※真北が道路である場合でも、北側斜線の要件を満たす旨を記載すること。